

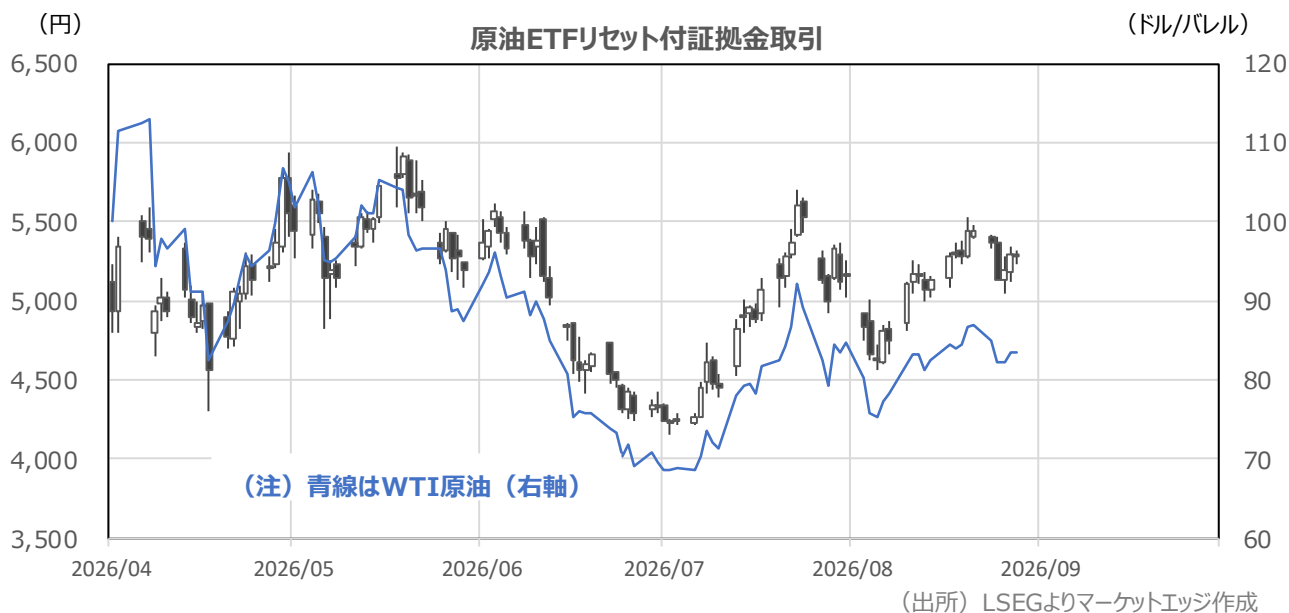
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/08/31号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



80ドル台前半まで軟化、米国の対イラン制裁発表も

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台で上値の重い展開になった。8月24日に米財務省が新たな対イラン経済制裁を発表した。ベッセント米財務長官は「史上最大の金融攻勢」として、イランと取引がある企業や金融機関などに対して二次制裁を課す方針を示した。ただし、注目されていた中国に対する二次制裁については明確な態度を表明せず、マーケットでは想定されていたほど厳しい内容ではないとの評価が優勢になった。ただし、トランプ米大統領がイランとの和平交渉が行われていないと発言したことを受けて、押し目買いを入れる動きも見られ、売買が交錯する不安定な地合が続いた。

イランとオマーンは、ホルムズ海峡の管理についての協議を行い、航路の設定や機雷除去などを含む枠組みについて合意した。今後はホルムズ海峡の船舶通航の条件などについて協議を進めることになる。このため、ホルムズ海峡の開放が近づいているとの見方は原油相場にネガティブ。ただし、実際にホルムズ海峡を通航している船舶の数は限られており、80ドル水準では押し目買いが入り、下値を支えた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月21日時点）は、原油が前週比10万バレル増、ガソリンが254万バレル減、石油精製品が223万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

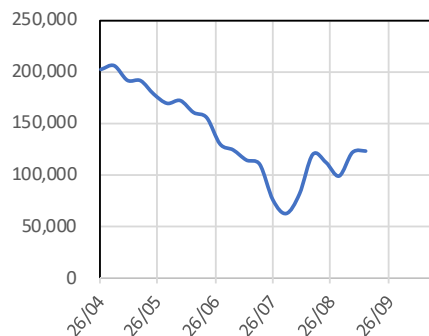
中東リスク次第で不安定も、上値重くなりやすい

中東情勢に強く依存する不安定な地合になるが、徐々に上値が重くなりやすい。米国の対イラン経済制裁発表をきっかけに、米国とイランが改めて軍事衝突に発展するリスクが警戒されたが、両国ともに冷静な対応を見せけている。特に米国は、当面は経済制裁を優先する方針を示しており、軍事紛争が本格化するリスクが抑制された状態が続くと、80ドル割れを試す可能性もある。

また、イランとオマーンとの間でホルムズ海峡の開放に向けた協議が進展していることも、原油相場にはネガティブ。現状では協議の枠組みに関する合意のみが公式に発表されているが、イランはホルムズ海峡開放の条件について調整を進めている模様であり、さらに具体的な動きが報告されると、ホルムズ海峡の開放期待が原油相場の上値を圧迫しよう。また、こうした議論とは別に、サウジアラビアの出荷が報告され、イラクの複数のタンカーについてホルムズ海峡通航がイランから認められるなど、原油流通改善の兆候がみられることもネガティブ。ホルムズ海峡のタンカー通航数が増えているとの見方が強まると、改めて80ドル割れから70ドル台中盤に向けて下値を切り下げる可能性がある。

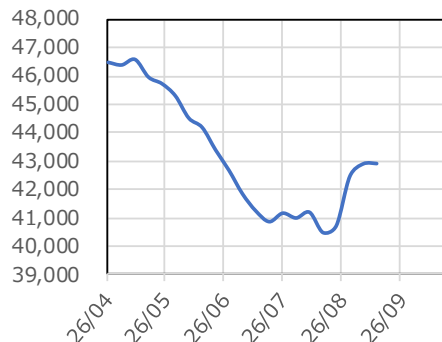
ただし、イエメン武装組織フーシ派のタンカーなどに対する攻撃は続いており、大規模な供給障害への警戒を強める動きがみられると、80ドル台後半に向けて急反発するリスクは残されている。また、ロシアとウクライナの戦闘激化が小麦相場の急伸を促しているが、ロシアなどの石油関連施設が大きなダメージを受けた際にも、原油相場が急反発する可能性がある。中東情勢は、予見可能性が乏しい状況が続く。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



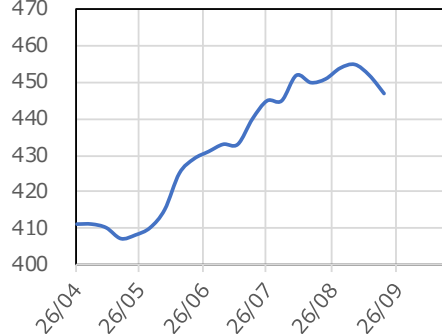
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで